

平成30年度病害虫発生予察指導情報  
対象病害虫：ナシ黒斑病

平成30年9月27日  
鳥取県病害虫防除所

表1 ナシ黒斑病の新梢葉の発病状況(平成30年)

地 区	新 梢 葉 の 発 病 率 <sup>1)</sup> (%)								
	6 月			7 月			9 月		
	本 年	前 年	平 年 <sup>2)</sup>	本 年	前 年	平 年 <sup>2)</sup>	本 年	前 年	平 年 <sup>2)</sup>
河原町	8.4	4.1	1.1 <sup>3)</sup>	18.3	40.9	8.6 <sup>3)</sup>	57.1	46.8	9.5 <sup>3)</sup>
佐治町	19.0	3.7	0.8	26.8	32.4	5.1	54.9	44.5	7.3
青谷町	9.4	20.8	6.9	32.0	21.4	15.5	31.7	15.3	17.2
八頭町	2.4	0	0.2	1.7	6.3	1.3	1.6	10.2	2.7
湯梨浜町(別所)	2.0	6.1	1.2	3.5	6.0	1.2	6.7	7.7	2.5
湯梨浜町(勝負谷)	0	0	0.9	5.6	0	0.5	5.0	6.2	2.0
倉吉市	0	0.6	0.4	2.5	4.7	1.3	3.1	12.4	2.5
北栄町(園試)	3.8	2.6	2.1	5.2	20.4	8.6	9.6	47.1	21.6
琴浦町	1.0	3.0	0.7	9.1	7.7	1.9	1.8	3.4	2.2
大山町(中山)	0	0	0.3	0.5	2.6	1.9	3.5	5.2	4.8
大山町(名和)	2.3	0.6	0.8	4.5	5.3	1.5	14.1	7.2	1.8
南部町	0.5	0.6	0.4	1.8	0	0.5	1.3	4.9	2.0
平 均	4.1	3.5	1.3	9.3	12.3	4.0	15.9	17.6	6.3

(注)

<sup>1)</sup> 1園当たり10新梢について全葉数及び病葉数を調査

<sup>2)</sup> 平成20～29年の平均値

<sup>3)</sup> 平成22～29年の平均値

<要約>

9月20、21、25日の調査において、新梢葉における発病率は15.9%(平成6.3%)と平年に比べてやや高かった。その発生量は東部地区で多い傾向であり、その他の地区は概ね平年並である。

<対策>

今後、収穫後の防除を行っていない園では収穫後防除を実施する。防除薬剤はアントラコール顆粒水和剤の500倍液等がある。